R Alumni

校友会活動ビジョン

ビジョン

未来を生みだす、立命のきずな。
応援しよう、個のかがやきを。

行動指針

未来を信じ挑戦し、自らのボーダーを超える。
多様性を認め、楽しく相互に成長できるつながりをつくる。
循環型支援の立命文化を創る。
グローバルシチズンとして、広く社会に貢献する。
立命人としての誇りを持ち、大学の価値向上に寄与する。

立命館大学校友会は、設立100周年を機に「校友会活動ビジョン」を策定しました。
私たちはこのビジョンのもと、校友や学生一人ひとりのチャレンジを応援し、
立命館のきずなを未来につなげていきます。

りつめい
No.290／2023年4月号

発行所／立命館大学校友会／年3回発行
発行人／村上健治
編集人／森川典子
〒604-8520　京都市中京区西ノ京朱雀町1
Tel.075（813）8216　Fax.075（813）8217
URL:https://alumni.ritsumei.jp/
E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp

▲ご連絡先の
変更はこちらから

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

R Alumni
立命館大学校友会
No.290 2023 APRIL

輝くひと
小説家
千早 茜さん
（'03文）

巻頭特集
物語が心を動かす

物語があるから、心に残る。

「ここから直木賞作家として、歴代受賞者に匹敵するような作品を毎回出していくという心構えができました。『続ける』ための賞だと思っています」

『しろがねの葉』で「第168回直木三十五賞」を受賞した千早茜さんは、受賞後の所感をこう語った。

最初に「本を書きたい」と思ったのは小学生の時、当時住んでいたアフリカのザンビアでのことだった。毎月5冊、祖父母が日本から送ってくれる本を心待ちにしていたが、届くとすぐに読み終わってしまう。幼心に「日本には本が少ないんだろう」と思い込み、「だったら自分が書けばいいんじゃないかと思ったんです」と振り返る。小説を書き始めたのは、大学時代。千早さんが学んだ人文総合科学インスティテュート(当時)は自由な雰囲気で、音楽や映画など表現活動に取り組んでいる学生も多かった。「初めて本について話せる友達ができたことがうれしかった。村上春樹の作品について何時間も語り合ったものです」と懐かしむ。ある時、映画を撮っている友達からストーリーを考えてほしいと頼まれた。「やってみたら、一晩で書けたんです。まるで初めて自転車に乗れた時みたいに、瞬間的に『あ、書ける』という感覚がつかめました。それからは次々と小説を書いていきました」

プロの小説家になってからは、「自分で決める」ことを大切にしている。他人の評価はあいまいで、それに寄りかかったら自分の軸が揺らいでしまうからだ。毎年、毎作、自分に「枷(かせ)」を課し、それを守り通してきた。『しろがねの葉』では、初めて時代小説、それも一人の人生を描くことに挑戦した。戦国末期の石見銀山に生きる女性が主人公。「なぜその場所で生きていくんだろう」。物語はそんな疑問から生まれたという。「理解できないことがあった時、自分とは違う人に置き換えて生い立ちや生き方を想像してみると、少しだけのみ込みやすくなる気がします」と物語を紡ぐ意味を語る。また「物語には、人の心への定着力がある」と言う。「例えばおいしそうなご飯の写真をSNSに載せるより、恋人同士の朝ご飯のシーンを物語にした方が、人の心にずっと残る。それだけ物語は人にとって大事なものだと思います」

「関心のあることが多すぎて、すべてを書くには人生が足りない」と千早さん。執筆計画は目白押しだが、「勉強もしたい。調理の専門学校に通いたいと言ったら、担当編集者に怒られるかも」と茶目っ気たっぷりに笑った。

小説家
千早(ちはや) 茜(あかね)さん
('03文)

輝くひと 120

■ PROFILE

北海道出身。2003年、文学部卒業。2008年、「第21回小説すばる新人賞」を受賞した。『魚神(いおがみ)』(集英社)にてデビュー。2009年、同作で「第37回泉鏡花文学賞」、2013年、『あとかた』(新潮社)で「第20回島清恋愛文学賞」、2021年、『透明な夜の香り』(集英社)で「第6回渡辺淳一文学賞」を受賞した。『あとかた』と2014年の『男ともだち』(文藝春秋)はそれぞれ直木賞候補となる。2023年1月、『しろがねの葉』(新潮社)で「第168回直木三十五賞」を受賞。

立命館大学校友会報
りつめい APRIL 2023 No.290

03 巻頭特集
物語が心を動かす

02 輝くひと
小説家
千早 茜さん

08 RITSUMEI INTERVIEW
株式会社シオン 上席執行役員／演出
冨田 大介さん

12 立命館ファミリー

14 立命館の研究者たち from RADIANT
文学部 岡本 広毅 准教授
「時空を超え、現代日本を魅了し続けるアーサー王物語」

16 校友会未来人財育成基金

17 応援しよう、個のかがやきを。

18 つながる、ひろがる 校友会
～校友会ネットワーク～

20 思い出のあの場所

21 立命館オンラインセミナーのご案内

22 学生の活躍

24 キャンパストピックス

28 3.11復興への願い／
会報と大学・校友会の最新ニュースを
メールでお届けします！

29 大学利用案内

30 INFORMATION
編集室から

Present

アンケートにご協力いただいた方に抽選でプレゼントをお贈りします！

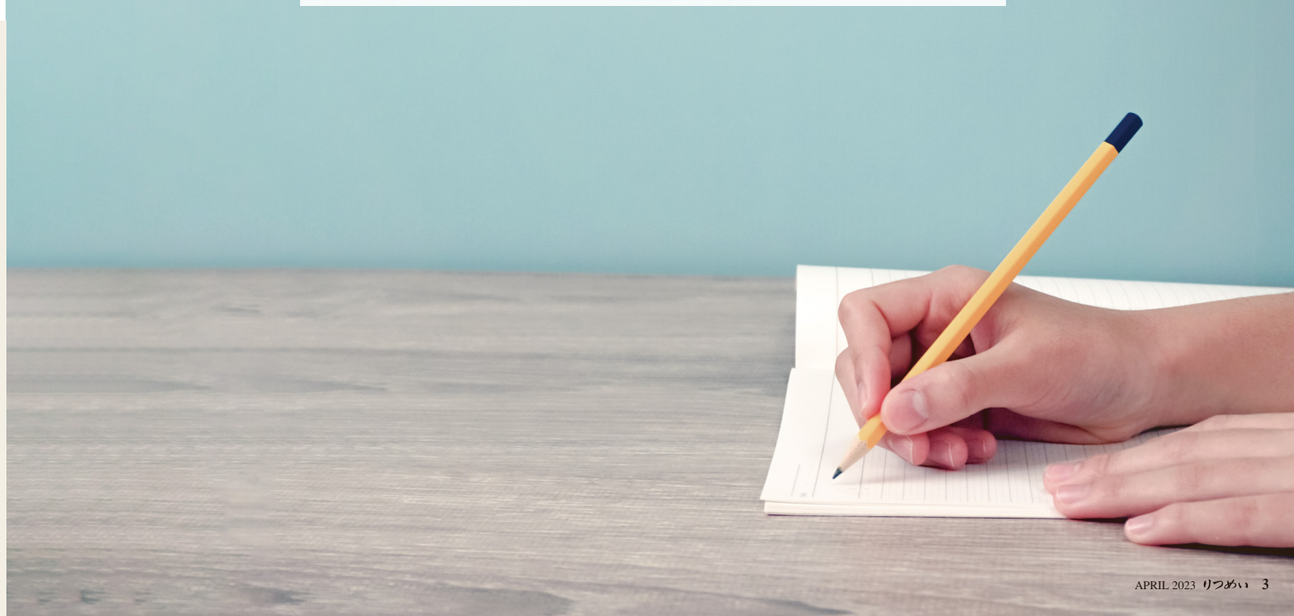
掲載内容は2023年1月時点のものです。(一部特記箇所を除く)
デザイン・ディライツ広告事務所

| 巻頭特集 |

物語が心を動かす

思い出を積み重ね、見知らぬ他人が、
かけがえのない大切な人になるように、
目の前の結果だけでなく、そこにたどり着くまでの
困難や苦労、悲しみ、喜び、
そうした数々の物語を共有した時、
人は、より大きな感動や深い共感、
何にも勝る幸福を感じることができる。
多彩な物語を紡ぎ、
多くの人の心を動かしている校友を紹介する。

撮影：岡田 一也



感動の力が人の心を動かし、社会を変える。

morning after cutting my hair, Inc. 代表取締役
／SOLIT,Inc. 代表取締役 田中（たなか） 美咲（みさき）さん（'11産社）

国籍や信仰、セクシュアリティ、障がいの有無や体形に関係なく、あらゆる人が気持ち良く着られる服を提供するアパレルブランド「SOLIT！」。「必要な人に、必要なものを、必要な分だけ」届けるという信念のもと、一人ひとりの好みや身体の特徴に合わせ、細かくカスタマイズできる受注生産制。原料調達から生産、購買者に商品が届くまでサプライチェーンに関わる人や環境にも配慮して服作りを行う。SOLIT,Inc.の代表取締役を務めるのが田中美咲さん。多様な人や動植物、地球環境も含め、あらゆる存在が健全に共存できる「オール・インクルーシブ（All inclusive）」な社会の実現をビジョンに掲げ、2020年に起業した。

「今の自分が想像できないような将来を見つけられる大学がいい」。立命館大学に進学したのはそんな想いからだったという。大学時代は、産業社会学部のエンター団や自治会の活動に熱中した。それまで自らがリーダーシップを発揮して、周囲を引っ張っていくタイプだった田中さんにとって、多くのメンバーと議論を重ねながら物事を進めるのは、初めての経験だった。「多様な人がいて、多様な考え方や意見があること、必ずしも自分の考えが正しいとは限らないことを実感しました。何より多くの人の意見を聞くことで、自分一人では考えの及ばない、想像を超えたところにまでたどり着ける。それがすごく面白いと思いました」

人生が大きく動いたのは、卒業を目前に控えた2011年3月、東日本大震災だった。「助けを求めている人がいるのに何もしないなんてありえない」。その気持ちに突き動かされて、IT企業で働きながら週末に福島県に通い、復興支援活動に関わるようになる。ついには会社を辞めて福島県に移住。仲間とともに一般社団法人防災ガールを立ち上げた。「次の被害を生みたくない。そのためにとりわけ若い人たちに防災の重要性を訴えたいと考えました。頭ごなしに言っても受け入れられないと思ったので、ゲームや本、プロダクトの形にしたり、若者の間ではやっていることに『防災』という概念を結び付けて伝えることを心掛けました」。活動は反響を呼び、事業は成長していったが、田中さんの中では次第に葛藤が大きくなっていった。「『防災のことは防災ガールに』と言われるくらい私たちの存在は浸透しましたが、それが逆に、他の人に活動が広がる妨げになってしまっていると感じたからです。それでは意味がないと思いました」。2020年、ノウハウを受け継ぐ団体に事業をバトンタッチし、活動に区切りをつけた。

「やってきたことに手応えはあったけれど、世間の人たちのアクションにつなげることはできなかった。社会を変えるところまではたどり着けなかったという心残りがありました」。そんな思いから改めて社会課題と向き合うべく設立したのが、現在経営する二つの会社だった。「どうやって社会を変えるかと考えた時に着目したのが、ファッションでした。『かわいい』『おしゃれ』って、人の心を動かす上でとても重要です。それに文化や習慣を変えるには、何十年、何百年もかかるけれど、ファッションなら1年に何度も変えるチャンスがある。そのスピードも魅力でした」と語る。

会社には個性豊かなメンバーが集まる。互いの「違い」を受け入れながら仕事ができるのは、大学時代の経験があったからだという。「SOLIT！」をスタートして2年、「こんな服が欲しかった」と涙を流して喜ぶ人を数多く見て、「共感や感動の力で人の心を動かし、未来を創っていきたい」という想いを強くしている。

SOLIT,Inc.で自ら実践するとともに、morning after cutting my hair, Inc.では社会課題を解決したいけれど何をしたらいいか分からないと悩む企業や団体の支援に取り組む。「依頼を受けた時、クライアントに言われたままのことをすることはまずありません。じっくり話を聞いて、本当にやりたいことなのか、10年後も続けたいと思えるかなどと深く問いかけ、本当にやるべきことを一緒に探します」。表層的なPRやコンサルティングにとどまらず、クライアントのパーソナルな部分にまで迫り、「家族」のような気持ちで未来を考える。その姿勢が相手の心を動かすという。

「社会を変えられる。そう信じられることを見つけた」と楽しそうに笑った田中さん。二つの事業をこれから100年続けていくにはどうすればいいか、ワクワクしながら考えている。

PROFILE
奈良県出身。2011年、産業社会学部卒業後、株式会社サイバーエージェントに入社。東日本大震災後、被災地で復興支援に携わる。2012年7月、退職後福島県に移住。2013年3月、一般社団法人防災ガールを設立し、2020年3月まで運営。2018年、フランスSparknewsが選ぶ「世界の女性社会起業家22名」に日本人で唯一選出されるなど、国境を超え、その活動が評価される。2018年、morning after cutting my hair, Inc.を創設し、2020年にSOLIT,Inc.を創設。世界三大デザインアワードの一つ「iFDESIGN AWARD 2022」で最優秀賞のGOLDを受賞。

独自の「編集」で新たな本との出合いをつくる。

誠光社 店主 堀部（ほりべ） 篤史（あつし）さん（'00文）

京都市の中心地・京都御苑の南側に面する丸太町通と河原町通の交差点から一筋入った路地に、書店「誠光社」がある。堀部篤史さんが前職から独立し、2015年に開いてから8年を数える。

店の書棚には、時代小説の人気作家の随筆集の隣にデザイン画集があったり、海外の推理小説と食に関するエッセーが隣り合わせに並んでいたりと、さまざまなジャンルの本が一見、脈絡なく陳列されている。目当ての本を探しながら、思わずその隣の本も手に取ってしまう。そんな堀部さんがつくり上げた「本の世界」に魅了され、全国から誠光社を訪れる人が絶えない。

「今の時代、インターネットで検索すれば、簡単に欲しい情報を手に入れることができます。本を買うだけならこの店に来る必要はありません。だからこそ大切にしているのが、なぜその本を選び、この場所に置いたのかという『文脈』です」と語る。自身の関心や読み方に基づいて、異なるジャンルやテーマの本の間に共通項や関連性を見つけ、つなげていく。いわば堀部さんの「編集」によって、誠光社の本棚は出来上がっている。「自分の中にある経験や知識を生かし、自分しか知らないつなげ方、自分なりの面白がり方を紹介するようにしています」と堀部さん。「お客さまには目的の本を買いにくるだけでなく、来店してから半分能動的、半分受動的に本を見つけてほしい。新たな視点で眺めることで、思いもよらない本と出合うこともできます」と語る。堀部さんの「編集」によって、ネット検索では得られない本との一期一会の出合いがある。それが多くの人を引きつけているゆえんだ。

そうした「編集」力を育んだのは、立命館大学に通った学生時代、京都の街だった。立命館中学校・高等学校から立命館大学へ進学。本はもちろん音楽や映画、アートなど、さまざまなカルチャーに夢中になった。「一人のアーティストに心酔したり、一つのジャンルを掘り下げるよりは、多様なものに幅広く接してその面白さや共通点を見つけ出したり、差異をどう扱うかを考えることが楽しかった。1990年代のクラブミュージックと1960年代に演奏された生音を聴き比べて、曲調に似たところを発見したり、1950年代フランスのヌーベルバーグ映画に、最新映画に引けを取らない新鮮さを感じたりしました」。自分が楽しむだけでは飽き足らず、友人と一緒にフリーペーパーを刊行。異なるジャンル・分野の映画や音楽、小説を自分なりの文脈に位置付けて紹介した。

授業後は、三月書房やヴァージン・メガストア京都店といった独自のこだわりを持つ書店やレコード店に通い詰める日々。その中の一つが「本のセレクトショップ」の先駆け的存在として名をはせていた恵文社一乗寺店だった。在学中にアルバイトを始め、大学卒業を機に就職。それから長く店長を務め、理想の書店を経営する難しさを身をもって知ったことが、自分の書店を作ることにつながったという。

従来の書店のビジネスモデルでは、自分の売りたい本だけを販売して経営を成り立たせるのは容易ではない。「本は利幅が小さいから、利益を確保するために売れ筋の本を販売したり、雑貨販売やカフェのスペースを併設したりして複合化せざるを得ません。そうしていくうちに、もはや自分の店ではなくなってしまいます」。「自分の店」を作る時、改めてこれまでの歩みを見直すことになった。「最初から『こんな店が作りたい』という夢があったわけではなく、自分の好きなもの、琴線に触れたものに没頭していたら、結果的にこの店ができました」

書店と出版社の間で流通を担う「出版取次」を介さず、出版社から直接仕入れることで利益を確保するなど、常に新しい本屋のかたちを模索している。売り上げを増やすことでビジネス構造の矛盾を克服しようとするのではなく、構造そのものを変えようというのだ。嗜好性の高い本を置きつつ、買ってもらえるよう自分の知識と言葉でその魅力を説明する。近年は書籍の編集・出版まで手掛けることも増えてきた。「どうすれば著者の表現したいことがお客さまに伝わるか、その解釈をするのが私の役割なんです」。今後堀部さんがどのような編集で誠光社の物語を紡いでいくのか楽しみだ。

PROFILE
京都府出身。1996年、文学部在学中に恵文社一乗寺店でアルバイトを始め、2000年3月に卒業後、正社員に。2002年からは店長を務める。2015年に独立し、京都市上京区に書店「誠光社」をオープンする。同店では小売だけでなく、出版やイベント、展示、ウェブマガジンの運営なども幅広く行う。著書に『街を変える小さな店』（京阪神エルマガジン社）、『90年代のこと 僕の修業時代』（夏葉社）、『火星の生活 誠光社の雑所得 2015-2022』（誠光社）などがある。

RITSUMEI INTERVIEW

「こんなの初めて見た」が最高の褒め言葉

株式会社シオン 上席執行役員／演出
冨田（とみだ） 大介（だいすけ）さん（'04経営）

お笑いコンビのナインティナインに憧れてテレビ業界に入り、
数々の人気バラエティー番組の企画・演出を手掛けてきた冨田大介さん。
その一つ『ヤギと大悟』は第59回ギャラクシー賞「選奨」を受賞した。
テレビ業界、出演者、そして多くの視聴者に高く支持される番組制作について語っていただいた。

撮影： 岡田 一也

「仕事=経営や起業」というイメージがあり、経営学部に進学しました。大学に入学した時は、将来映像やエンターテインメントに関わるとは思ってもいませんでした。今でも心に残っているのは、友達と過ごした思い出です。私自身はサッカーサークルに入っていましたが、なぜかアメリカンフットボール部「パンサーズ」の選手たちと仲良くなって。彼らの練習の後、一人暮らしの部屋に集まって徹夜で話をしたり、ワイワイ言い合いながら一緒にご飯を食べたり、そんなたわいもない時間がとても楽しかったことを覚えています。自由な時間の中で、自分自身のことや将来についてじっくり考えることができた4年間は、非常に有意義だったと思っています。

「将来、どんな職業に就くんだろう」と考える中で興味を持ったのが、子どもの頃から好きだったテレビの世界でした。とりわけ大好きだったのが、お笑いコンビのナインティナインです。「自分がつくったものを届けて、大勢の人を楽しませる仕事っていいな」と考えた時、まず頭に浮かんだのが「ナインティナインと一緒に仕事がしたい」ということでした。とはいえ、どうしたらそれをかなえられるのか、まったくわかりません。そこで彼らが出演しているテレビ番組のエンドロールから番組をつくっている制作会社を調べ、片っ端から履歴書を送りました。その中の一つが、現在勤める株式会社シオンでした。

エントリーシートを送付する際、「通常の履歴書ではナインティナインへの自分の熱量は伝わらない」と思い、A4用紙3枚にびっしり自分の想いを書いて一緒に提出しました。その熱意が買われたのか、入社後すぐにナインティナインがMCを務めるトーク番組の制作に配属されました。幸せなことに、以来20年近く、ナインティナインの数々の番組に関わり続けています。

誰も見たことのない番組をつくりたい

最初はアシスタントディレクターとしてスタート。入社4年目にディレクターになり、自分で番組の台本を書き、演出から収録後の編集まで担当するようになりました。いつも念頭に置いていたのが「他の人が思いつかないことをやりたい」「視聴者がこれまで見たことのない番組をつくりたい」という思いです。出演者が「すごい斬新な企画じゃん」と面白がってくれると、番組はいっそう盛り上がります。リスペクトしているお笑い芸人さんに認めてもらえることがうれしくて、「自分にしかできないことをやろう」という気持

ちが強くなっていきました。

一視聴者からバラエティー番組を制作する立場になって、改めて実感したのが、お笑い芸人さんの「すごさ」です。「こうなったら面白いな」と期待して書いた台本を軽々と超えて、現場で笑いを生み出すところを目の当たりにし、尊敬の気持ちはますます大きくなりました。現場が盛り上がるほど、後の編集作業には苦心します。ただ決められた時間に収まるよう場面ごとに映像をカットするのは簡単ですが、それでは笑いの濃度が薄まってしまいます。ディレクターになったばかりの頃は、決められた尺に収めることに気を取られ、よく先輩に「そんなことをしていたら、出演者の信用を失うぞ」と叱られました。

今、大切にしているのは、現場にあった「面白い空気感」を損なわずに編集すること。「これだけ笑いを取ってくれたんだから、それをちゃんと視聴者に届けたい」と思い、徹底的に突き詰めます。「この番組のスタッフは笑いを見落とさずに使ってくれるな」と認めると、出演者は次の収録でも力を発揮してくれます。この信頼の積み重ねが、面白い番組につながっていくことを実感しました。

ゼロから企画・制作する面白さに熱中

ディレクターになって数年、30歳を過ぎた頃から自分で企画し、番組をつくることも増えていきました。ゼロから1を生み出し、世に届けることがそれはもう面白くて、「これがやりたかったんだ」という思いを強くしました。番組をつくっていて、とりわけ気持ちが高まる「沸点」が三つあります。一つ目は、企画書を完成させ、「これは絶対に通る」と手応えを感じた時。二つ目は企画をプレゼンし、尊敬する芸人さんに「面白い」と思ってもらえた時。そして三つ目は、番組をつくって放送した後、「面白かった」という視聴者の声に触れた時です。

とはいえ企画を生み出すまでは、苦しいこともたくさんあります。「新しいものを生み出したい」と考えあぐね、何一つ思いつかないまま数時間、時には数日たってしまうことも少なくありません。その上、番組改編時期に出されるテレビ局の企画募集には、200本以上も殺到します。その中で採用されるのは、わずか数本。練り上げた企画を提出しても、採用されないことの方が多いのが現実です。

アイデアを蓄積するために普段からバラエティー番組を全て録画し、話題になった番組は必ずチェックします。日常生活でも常にアンテナを張り、面白いと思ったことは、すぐメモするようにしています。そうした日常から生まれた番組が『ヤギと大悟』でした。

きっかけは、小学校に通う子どもが学校で飼っているヤギを世話する「ヤギ当番」になったことでした。その様子を見に行った時、ヤギが驚くほど雑草を食べている姿に、思わず笑ってしまいました。ヤギの周りに子どもたちが集まって、まるでアイドルのような人気です。そこから浮かんだのが、ヤギが雑草を食べながら散歩するという番組のアイデアでした。「ヤギを連れて歩く相棒は絶対にお笑いコンビ千鳥の大悟さんがいい」と思い、『ヤギと大悟』というタイトルまで決めて企画書をテレビ局に持ち込みました。「いける」と思ったのは、オファーした大悟さんが、開口一番「なんやこの番組は？」と笑って突っ込んでくれた時です。まさに今、日本中を笑わせている超売れっ子の芸人さんが、自分の企画の斬新さを面白がってくれたことがうれしかった。さらに胸が熱くなったのは、番組を放送後、多くの視聴者から「癒やされた」「子どもが釘付けで何度も見ています」といった声をいただいたことでした。思春期の娘を持つ親から、「この番組をきっかけに、普段まったく会話がない娘と久しぶりに話しました」という感想もありました。自分がつくった番組が、誰かの人生をほんの少しでも良くできたのなら、これほどの喜びはありません。最初はただナインティナインと仕事をしたい一心でしたが、多くの仕事を経験する中で少しずつ自分自身の意識が変わり、今は番組を通じて人を癒やしたり楽しませたりすることに大きなやりがいを感じています。

『ヤギと大悟』©テレビ東京

その思いがひときわ強くなったのが、2022年3月に放送したバラエティー番組『霜降り明星の校内放送ジャック』を企画・制作した時でした。お笑いコンビの霜降り明星が、3月で閉校する中学校を予告なしに訪問し、「校内放送」を乗っ取るというものです。子どもからコロナ禍で給食中は黙食だと聞いたことが企画のきっかけです。「面白い校内放送を流して、給食や昼休みを楽しい時間にできたら」。そんな思いで企画書を書き上げました。

収録当日、霜降り明星のお二人の校内放送は子どもたちに大受けでした。閉校と同時に定年退職を迎える校長先生からは「最後に素晴らしい思い出ができました」と感謝の電話を後日いただきました。視聴者からも好評を獲得。自分のつくった番組に良いリアクションが返ってくる。これこそ仕事の醍醐味（だいごみ）だと思いました。

『霜降り明星の校内放送ジャック』©テレビ東京

ギャラクシー賞贈賞式での冨田さん

日本を越えて世界に番組を届けるチャンス

テレビ業界に入って、非常に大勢の人に届けられることを改めて知りました。昔に比べてテレビに元気がなくなったと言う人もいますが、視聴率1%は約100万人が見ている計算になるともいわれています。そう考えるとテレビの可能性は、まだまだ大きいと思っています。さらに近年は、動画配信サービスなどによって日本だけでなく世界中に届けられるチャンスも広がっており、作品づくりへの意欲がますます高まっています。

これから先、今の自分には考えもつかない番組を生み出し、自分自身がワクワクしながら仕事をしていきたい。そして何よりそれを見てくれる人が喜んでくれる番組を発信し続けていきたいと思っています。

PROFILE

株式会社シオン 上席執行役員／演出

冨田 大介さん

愛知県出身。2004年に経営学部を卒業後、株式会社シオンに入社。『ナイナイサイズ！』『99プラス』『ぐるぐるナインティナイン』（日本テレビ）など数々のナインティナインの番組を担当。企画・演出を務めるバラエティー番組『ヤギと大悟』（テレビ東京）が、第59回ギャラクシー賞「選奨」、第38回ATP賞テレビグランプリ情報・バラエティ部門「最優秀賞」を受賞。

“私の在学中にはなかった
映像学部ができ、うらやましい限りです。
テレビ業界の仕事について
お話しする機会があれば、
喜んで協力したいと思っています”

RITSUMEIKAN FAMILY STORY #04

～立命館ファミリー～

立命館出身の親子・孫・きょうだいなど、

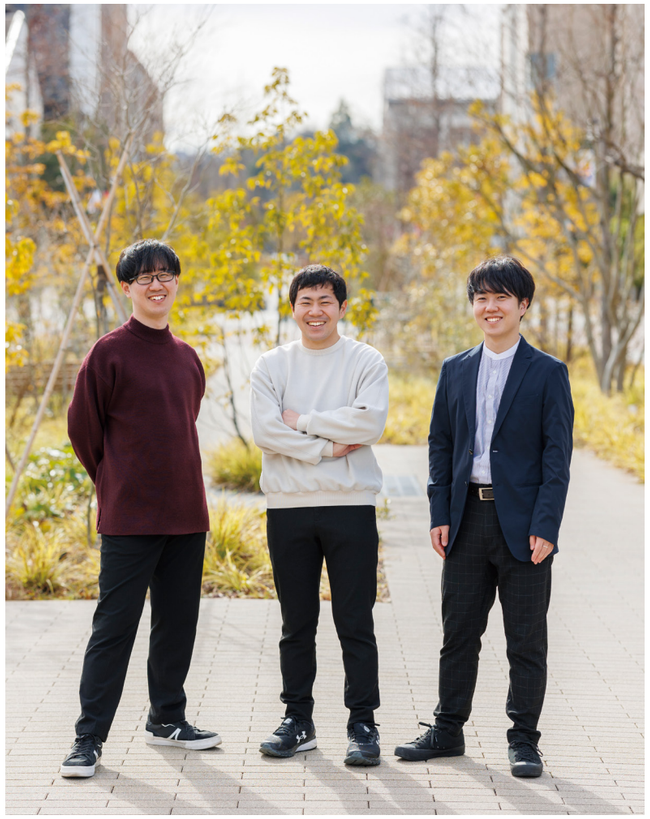
在学時の思い出と今を紹介します。

3兄弟で共に学んだ数理ファイナンス

身に付けた数学の専門知識が金融専門職としての今に生きています。（次男・隼裕さん）

兄2人のおかげで立命館での居場所が広がりました。（三男・翔伍さん）

数学がいかに社会で使われているか、赤堀研究室で学びました。（長男・雄基さん）



撮影：岡田 一也

――3兄弟がそろって理工学部数理科学科に進学され、しかも同じ赤堀次郎教授の研究室で学ばれました。

雄基さん　父親が数学の研究者であることもあってか、3人とも子どもの頃から算数・数学が得意でした。大学受験で合格した幾つかの大学のうち、唯一地元の福岡県以外だったのが立命館大学で、せっかく受かったんだからと進学を決めました。

隼裕さん　私も数学が好きで、大学に入ったら「数学を勉強したい」と思っていました。立命館大学の名は福岡でもよく知られていましたが、進学を決めるに当たっては、やはり兄が通っていることが安心材料になりました。

翔伍さん　私は根っからの末っ子気質で、兄2人の行動を見て意思を決定することがよくあります。夏休みなどに帰省した兄たちが話す顔が楽しそうで、充実した大学生活を送っているんだろうなと感じられたことが、進学の決め手でした。

雄基さん　私の夢は数学の教師になることでした。教師になったら、数学がいかに社会のいろいろなところで使われている実用的な学問であるかを伝えたいと考えていました。専門の数理ファイナンスは金融業界など実社会で応用されています。実用に近い分野を学べると思い、赤堀研究室を選びました。

隼裕さん　私は兄から、赤堀先生の研究室から多くの人が金融機関に就職していると聞いて、「こういう道があるのか」と興味を持ったのがきっかけです。大学に進学する時から将来は数学を生かせる仕事に就きたいと思っていたので、赤堀研究室で学び、金融専門職を目指そうと考えました。

翔伍さん　やはり兄たちが学んでいることが大きかったですね。2人を通じて、数学を使って社会の役に立つ数理ファイナンスという分野の魅力を知りました。

長男（写真左から2人目）
仙葉 雄基さん
（'19院理工）滋賀県在住
滋賀県立甲南高等学校 教諭

次男（写真左）
仙葉 隼裕さん
（'21院理工）千葉県在住
株式会社みずほフィナンシャルグループ

三男（写真右）
仙葉 翔伍さん
（院理工2）滋賀県在住
株式会社三菱UFJ銀行（内定）

（写真右から2人目）
赤堀 次郎教授
立命館大学 理工学部 数理科学科

――同じ研究室で学んで良かったことはありますか。

隼裕さん　「仙葉の弟」ということで、先輩にもすぐ覚えてもらえたし、兄のことを話の「ネタ」に早く打ち解けられたので、わからないことを質問する際にも、気後れせずに尋ねることができました。

翔伍さん　私もそうですね。学部生にとって大学院生の先輩は少し怖い存在ですが、兄から先輩方の人となりを聞いていたおかげで親しみが湧き、臆せず接することができました。2人の兄を通じて交友関係が広がり、立命館に自分の居場所が増えていった気がします。

隼裕さん　共通の友人・知人が多いので、「最近、あの彼が結婚したらしいよ」なんて、今でも大学の話題は尽きません。

雄基さん　教員になったばかりの頃は、一番身近な後輩である弟たちに「ここはどういう風に説明したらわかりやすいかな」などと聞くこともありました。

翔伍さん　家族の話題だけでなく、「立命館」をキーワードに兄弟の会話が広がることが多いですね。

――赤堀研究室での思い出を聞かせてください。

赤堀教授　仙葉兄弟は三者三様です。長兄の雄基君は、同学年の中でもみんなを引っ張るボス的存在。一方次兄の隼裕君は、研究室でも弟気質で、翔伍君は盛り上げるのが得意な人気者という印象です。兄弟でもきっと、同じような役回りなのだろうと想像します。研究室では、学生同士が互いに教え合うピア・サポートの仕組みを積極的に取り入れています。リーダー肌の雄基君がその体制を構築し、みんなをまとめてくれました。

雄基さん　私は自分がやるより、もっぱら仲間に助けてもらうタイプです。後輩のためのセミナーも、友達に頼んで開いてもらっていました。

同じ年に雄基さん（左）は大学院を修了、隼裕さん（右）は大学を卒業。研究室にて。

隼裕さん　私が3回生の時も、よく先輩にセミナーで教えてもらいました。友達には「お前は家でもお兄さんに教えてもらえるから、いいな」とうらやましがられたものです。

赤堀教授　理工学部設立80周年事業の一環で、全研究室の学生・大学院生による研究紹介が行われた時は、うちの研究室を代表して雄基君が発表し、賞を取りましたね。

雄基さん　大学院1回生の時、研究について英語で発表したことは、一番の思い出です。英語は大の苦手だったので、準備は大変でした。留学経験のある仲間に手伝ってもらって資料を作成し、当日まで必死に英語の原稿を覚えて発表に臨んだことを覚えています。

赤堀教授　修士論文では、雄基君、隼裕君ともに素晴らしい研究成果を上げましたね。隼裕君の論文は、海外の学術雑誌にも掲載されました。翔伍君はまさに今、頑張っているところです。

同じ年に翔伍さん（左）は大学に入学、雄基さん（右）は大学院に入学。

隼裕さん　修士論文に向けて研究したことは今でも心に残っています。わからないところが出てくるたびに、赤堀先生に何度も質問に行きました。先生の食事中に部屋に飛び込み、教えていただいたこともあったと記憶しています。

――大学での学びが今生きていることは。

雄基さん　高校の教員になって一番生きていると感じるのは、難しい問題にぶつかり、「わからない」と頭を悩ませた経験です。教え子の中には数学が苦手な生徒もいます。授業をする時は常に「わからない」と思っている生徒の視点に立つよう心掛けています。

隼裕さん　現在は銀行で金融専門職としてリスク分析の仕事をしています。単にコンピューターに入力してリスクを計測するだけでなく、その意味を分析するためには、どのような数式が使われているのか、背景にある数学的理論を理解する必要があります。大学・大学院で数学の理論的知識を学んだことが役立っています。

翔伍さん　私は大学院修了後、銀行で金融専門職クオンツとして働く予定です。今後赤堀研究室で身に付けた専門性を存分に生かしていきたいと思っています。

赤堀教授　研究室では、隼裕君や翔伍君のような金融専門職を数多く輩出してきました。また雄基君のように、専門分野で活躍する数学に強い人材を育てる人も重要です。今や金融機関に限らず、社会のあらゆるところにデータサイエンスが用いられています。社会を支える領域をボトムアップしていくために、ぜひ3人にはこれからも数学の研究を続けて新たな知見を見いだし、論文を出し続けてほしいと願っています。今後ますます社会のあらゆる領域で数学の専門的な知識を持っている人材が必要になります。3人がその担い手になってくれることを期待しています。

立命館の研究者たち
from RADIANT

立命館大学の研究部から発行されている研究活動報『RADIANT』。
今号は『RADIANT』に掲載された研究内容をご紹介します。

時空を超え、現代日本を魅了し続けるアーサー王物語

『いかにしてアーサー王は日本で受容されサブカルチャー界に君臨したか』岡本広毅、小宮真樹子 編（みずき書林 2019年）
マンガ、アニメ、ゲーム、文学…現代日本でさまざまなサブカルチャーに影響を与え続けているアーサー王伝説。岡本准教授をはじめとした研究者、作家、ゲームライター、漫画家など多彩な分野の第一人者がそれぞれの視点でアーサー王物語の魅力を語り尽くしたのが本書。通称「いかアサ」は、「学問と娯楽の懸け橋となる」エンタメ作品としてファンの間で大きな話題をさらった。

現代のさまざまなサブカルチャーにアーサー王物語の影響を見る。

人気のRPG（ロールプレーイングゲーム）やファンタジー映画、中世ヨーロッパをモチーフにしたマンガやアニメなどにしばしば「アーサー王」という名前が登場する。アーサーは、5世紀末からブリテン島で語り継がれてきた英雄伝説上の人物である。中世初期、大陸から侵攻してきたゲルマン民族を退けた勇敢な戦士アーサーの武勇伝が「アーサー王物語」だ。一地方の伝承がいつしか国を超え時を超えて現代の日本にまで伝わり、今なおさまざまなポップ・カルチャーに影響を与え続けている。

中世イングランドの言語と文学を専門とする岡本広毅はそうした中世アーサー王物語に特別な魅力を感じ、研究対象としてきた。とりわけ「アーサー王物語という中世の文学がその後の時代にどのように受容・享受されていったのか」に注目している。

岡本によると、長くケルト系ブリトン人の間で口承されてきたアーサーの物語が外へと広まり始めたのは12世紀。ジェフリー・オブ・モンマスによってアーサー王の具体的な事績が初めて記述されると瞬く間にヨーロッパ全域に伝播し、広く愛好されるようになっていった。それ以降数百年にわたって数々の書き手によって新たな物語が紡ぎ出され、読み継がれてきたという。

「現代になってアニメやマンガ、ソーシャルゲームなどメディア媒体が多様化する中で、アーサー王物語はさらに多彩な展開を見せています」と岡本。例えば冒険やファンタジーを題材にしたゲームには、アーサー王物語のような中世ヨーロッパに伝わる古い物語にルーツを求める作品が数多くある。中でも岡本は多様な受容の在り方の象徴的な形として2004年に発売された『Fate/stay night』というコンピューターゲームを挙げる。『Fate（フェイト）』シリーズは現在も世界屈指のダウンロード数を誇る人気のRPGで、ゲームには西洋の伝説や歴史に関するキャラクター、アイテムなどが数多く登場する。その中で核となる「ヒロイン」として活躍するのがアーサー王であるという。アーサーを女性化するという大胆な改変について岡本は「こうした変幻自在のスピンオフ、無数の変奏こそがアーサー王物語の真骨頂だといえます」と語る（『Fate』シリーズに関しては、『いかにしてアーサー王は日本で受容されサブカルチャー界に君臨したか』第二部、滝口秀人「女性アーサー王受容之試論ー『Fate』シリーズを中心に」[165-182ページ] を参照）。

先述のようにアーサー王物語は12世紀に成文化されて以降、さまざまな尾ひれが付き、膨大な物語が派生していった。「円卓の騎士」たちの中からランスロットやガウェイン、パーシヴァル、トリスタンなどの騎士を主人公にした物語が生まれ、本家をしのぐ人気を得ている。「こうして多様に派生するプロセスこそが中世アーサー王物語の本質であり、『Fate』にも見られる現代の受容のされ方、その過程は図らずもそのオマージュになっています」と岡本は考察する。

こうした日本におけるアーサー王の受容の歴史は明治時代にまでさかのぼる。日本初のアーサー王小説は、夏目漱石が執筆した『薤露行（かいろこう）』(1905) であると岡本の編著の中で紹介されている。明治・大正期には「アーサー王物語」のさまざまな翻訳が出版されたが、その中には想像で描かれた挿絵もあるという。「円卓の騎士は長髪に口ひげを蓄え、中世の遊牧民族のような衣をまとっています。中世西洋の騎士についての知識がほとんどなかった当時の日本における極めて興味深い受容の一つの形だといえます」（詳しくは『いかにしてアーサー王は日本で受容されサブカルチャー界に君臨したか』第一部、山田攻「明治・大正アーサー王浪漫ー挿絵に見る騎士イメージの完成過程」[20-41ページ] を参照）。

いったいなぜアーサー王物語は時空を超え、今も人々を引きつけてやまないのか。岡本はその最大の魅力を「『歴史とロマンス』の関係」にあるとする。岡本によると「ロマンス」とは元来「ローマ人の言語である『ラテン語』から俗語の『ロマンス語』に翻訳された作品」を意味していたという。12世紀以降のフランスで、文芸作品を自国の言語に翻訳する「ロマンス化」の動きが盛んになった。中でも多く翻訳されたのが、超自然や魔法、巨人やドラゴン、冒険や恋愛が登場するファンタジーや冒険物語、騎士道物語だったことからそれらを指して「ロマンス」といわれるようになったという。

「アーサー王物語は古代ケルトに伝わる歴史を基調にしながら戦や冒険、恋愛、魔術、神秘といった『虚構』をまとっています。『史実と虚構』『歴史とロマンス』の絶妙なバランスがこの物語に説得力と驚き・興奮の両方を与えています」と岡本。「歴史という大きな流れの中で生きている人間の小さな過ちや恋愛などのささいな情念がやがては王国の崩壊をも導いていく。大きな共同体の運命が小さな存在によって動かされたり、またその逆もある。そこに人々の心を揺さぶる要因があります」と分析する。また岡本はイギリスのノーベル文学賞作家カズオ・イシグロのアーサー王伝説を題材にした作品『忘れられた巨人』(2015) にも同様の魅力を見出している。「この作品でも、共同体の『ヒストリー』が『残酷』な個人の『ストーリー』に収束していくのを目の当たりにします。『ファンタジー』という衣を着ながらその下に潜む生々しい歴史の実態に踏み込んでいるから面白い」と読み解く。

アーサー王物語の受容の歴史はここで終わりではないだろう。今後どのように派生し、展開していくのか。行く末も楽しみだ。

岡本 広毅（おかもと ひろき） 准教授
文学部
研究テーマ：中英語文学におけるロマンスと歴史、現代ファンタジー文化と中世主義
専門分野：中世英語英文学、アーサー王物語

立命館大学研究活動報『RADIANT』(ISSUE11 ことば・文字・コミュニケーション, pp.16-17, 2019. 7)より一部変更し、転載
RADIANT（ラディアント）は、立命館大学の多様な研究活動を紹介する研究活動報として2015年11月に創刊号（特集：アジア）を発行し、今年で9年目を迎えます。RADIANTは、「光を放つ、光り輝く」という意味を持つ形容詞です。今後、立命館大学の研究成果が光り輝く未来を生み出す一歩に、また、これからの世界を照らす一助になるという意味が込められています。今後も一つのテーマを切り口に、立命館大学で展開されている研究を幅広く紹介していく予定です。 ▶www.ritsumei.ac.jp/research/radiant/

校友会
未来人財
育成基金

「立命館大学校友会 未来人財育成奨励金（団体支援）」が、学生の学びのフィールドを広げています。

TOPICS

校友会未来人財育成奨励金受給団体「きぬがさ農園Kreis」が「第12回毎日地球未来賞クボタ賞」を受賞しました。

2023年1月、毎日新聞社が主催する「第12回毎日地球未来賞」の受賞団体が発表されました。「毎日地球未来賞」は、未来の子どもたちに良好な環境を残すため、「食料」「水」「環境」の分野で、国内外の問題解決のために活動する市民団体や、小中高生・大学生など若い人たちの活動を顕彰し、賞金を贈って活動を応援する取り組みです。

その中で、大賞に準じ将来性も重視する特別賞である「クボタ賞」を校友会未来人財育成奨励金受給団体である「きぬがさ農園Kreis」が受賞しました。

「きぬがさ農園Kreis」は、農業・園芸活動を通じて地域交流やSDGsの達成を目指している学生団体です。学内の落ち葉から作った腐葉土を農園で使用し、野菜を育て、その野菜を学内で消費する、という資源循環の活動に取り組んでいます。

また、当団体は、2022年10月に実施した「オール立命館校友の集い2022 ライブ配信企画『ミライをつくる学生たち～校友会未来人財育成奨励金で出来たこと～』」にも登場し、校友の皆さんに広く活動を紹介しました。

「きぬがさ農園Kreis」をはじめとして校友会未来人財育成奨励金を受給した団体は、これからも自らの可能性を広げ、積極的にチャレンジしていきます。皆さんの温かい応援を引き続きお願いします。

校友会未来人財育成基金の実績
（2022年12月31日時点）

4,921の個人・団体・法人から 310,497,885円

募集要項

■ **寄付の金額**
（1）個人・団体（校友会などの任意団体）の場合
ひと口1,000円からご支援いただけます（一括寄付と継続寄付［毎月・年2回・毎年］のどちらも可能です）。
（2）法人の場合
ひと口の金額は特に定めておりません。

■ **募集期間**
期間に定めはありません。

■ **活用プラン**
海外留学支援、成長支援、課外活動支援、研究支援、施設整備支援。

■ **税制上の優遇措置について**
本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

申込方法

❶WEBで申し込む
立命館大学校友会のホームページよりお申し込みください。簡単な手続きで完了いたします。クレジットカードにてご寄付いただけます。

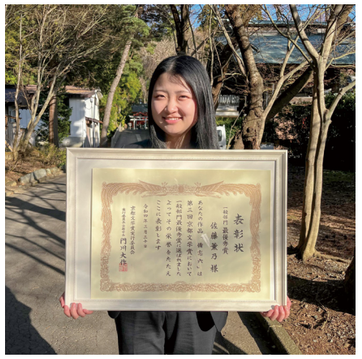
スマートフォンからのアクセスはこちら！
https://alumni.ritsumei.jp/gift/

❷書面で申し込む
立命館大学校友会事務局に資料をご請求ください。銀行振込・口座振替・現金にてご寄付いただけます。

お問い合わせ先（受付時間 土日祝を除く 9:30～17:00）

校友会未来人財育成基金に関しては
立命館大学校友会事務局
075-813-8216

寄付の受け入れ、税制上の優遇措置に関しては
立命館 総務部 寄付事務局
075-813-8110



佐藤 薫乃さん（'21文）
岩手県在住

#備忘六　#京都文学賞

大学時代から継続して、小説作品の執筆に取り組んでいます。昨年3月には、京都を題材にした小説が対象の「第3回京都文学賞」にて、『備忘六』が一般部門の最優秀賞を受賞しました。現在、受賞作の刊行に向けて準備中です。

山本 茜さん（'21国関）
石川県在住／株式会社石川ツエーゲン（ツエーゲン金沢・広報）

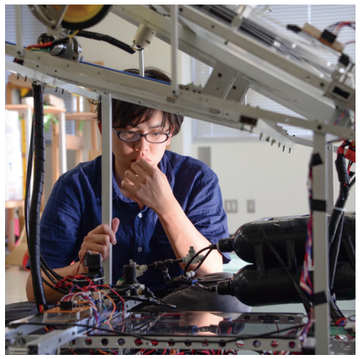
#サッカー　#SNSでつなぐ

J2リーグに所属するプロサッカーチーム「ツエーゲン金沢」で広報業務を担当しています。SNSなどオウンドメディアの運用を通じて、選手の魅力や試合だけではないサッカークラブの価値を伝え、ツエーゲン金沢を多くの人に知ってもらうきっかけとなるような発信を目指しています。

#CHEERING　#ALUMNI

応援しよう、個のかがやきを。

立命館大学校友会は、校友会活動ビジョンのもと、
日本全国・世界各地で、今を頑張っているかがやく校友たちを応援しています！



森田 崇文さん（'19理工）
東京都在住／東京大学大学院 筧研 博士2年・学振DC・JST ACT-X

#インタラクション研究者　#メディアアーティスト

専門分野はHCI※で、モノの素材の特性に着目したインターフェースの研究をしています。研究成果に加えて、作品展示もしており、メディアテクノロジーを駆使した表現を開拓していきます。ACM CHI2022 Honorable Mention AwardやArs Electronica2022での作品展示など受賞多数。

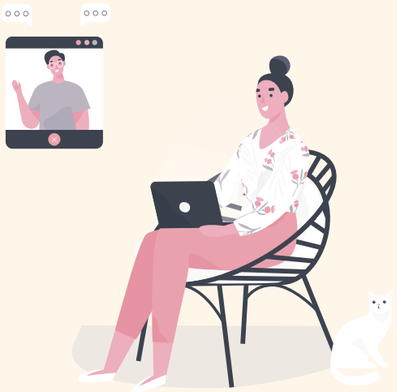
※Human Computer Interaction（ヒューマン・コンピュータ・インタラクション）

青地 秀介さん（'17国関）
オーストラリア・シドニー在住／三菱地所株式会社

#オーストラリア連邦でまちづくり　#景色を創る

オーストラリア連邦にてオフィス、住宅等の開発を行っています。当地に根差す価値観と、日本のまちづくりのノウハウを融合させ、街に新たな拠点を生み出すべく奮闘しています。手掛ける案件が、オペラハウス等の有名建築とともに新たな景観を成すのは何にも代え難い喜びです。

つながる、ひろがる 校友会 ～校友会ネットワーク～



これまで新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、
多くの校友会では、総会・行事の中止や延期を余儀なくされてきました。
2022年度は、規模を縮小しながらも
対面開催や対面とオンラインを併用したハイブリッド開催など、
各校友会で工夫を凝らし、校友同士のつながりが一層深まる活動を行っています。

2022/11/4(金)
鳥取県東部校友会 総会
ホテルモナーク鳥取

2022/11/4(金)～6(日)
山岳サークル立命山恋 結成50周年記念 木屋平集会
徳島県 木屋平

2022/11/5(土)
大阪校友会「校友の集い2022」
シティプラザ大阪

2022/11/12(土)
福井県校友会「校友の集い」
福井商工会議所

2022/11/12(土)
愛知県校友会 イヤーズミーティング
名鉄グランドホテル

2022/11/12(土)
三重県校友会 総会
大和ハウス工業株式会社 津営業所

2022/11/12(土)
京都府庁 衣笠会
東華菜館(本店)

2022/11/19(土)
R立命館千葉県校友大会・総会
市川グランドホテル

2022/11/19(土)
証券研究会OB会 総会
京都ガーデンパレス

2022/11/23(水・祝)
広島県東部校友会 総会
オステリア・ラ・フォンテ

2022/11/26(土)
オール立命館福岡県校友のつどい
ソラリア西鉄ホテル福岡

2022/11/27(日)
奈良県校友会 総会
ホテル日航奈良

2022/12/10(土)
石川県校友会 総会
金沢ニューグランドホテル

2023/1/21(土)
長野県校友会 上伊那地区会 新年会
フラワーパレス

各校友会の活動や
今後のイベント予定は
校友会ホームページを
ご覧ください

日程	校友会・グループ	会場
2022/11/6(日)	立命電友会 創立30周年記念祝賀会	ザ・プリンス 京都宝ヶ池
2022/11/9(水)	エース会 例会	エクシブ有馬離宮
2022/11/12(土)	機友会北陸信越支部 総会	JA長野県ビル
2022/11/13(日)	立命館公認会計士校友会 総会	立命館大学大阪いばらきキャンパス
2022/11/19(土)	東北海道校友会 総会	バイオマスリサーチ株式会社
2022/11/19(土)	柔道部創部100周年記念祝賀会	ANAクラウンプラザホテル京都
2022/11/26(土)	鳥取県西部校友会 総会	OUランド内 レストランBuono! Buono!
2022/11/26(土)	経済学部同窓会 総会	立命館大学大阪いばらきキャンパス
2022/11/26(土)	立命館スポーツフェロー「理事長・総長を囲む集い」	ザ・プリンス 京都宝ヶ池
2022/11/27(日)	兵庫県西宮支部 臨時総会	日本盛 酒蔵通り煉瓦館
2022/11/30(水)	京都建設会 総会	都ホテル 京都八条
2022/12/5(月)	ロータリー立命会 例会	京懐石美濃吉本店「竹茂楼」
2023/1/21(土)	オール立命館筑後会 総会	久留米ホテルエスプリ
2023/2/11(土)	ユネスコ研究会OB会	立命館大学衣笠キャンパス
2023/2/12(日)	立命館スポーツフェロー「体育会歓送会」	ホテルグランヴィア京都
2023/2/18(土)	自動車部OB総会	ホテルグランヴィア京都
2023/3/11(土)	東京校友会 総会	立命館東京キャンパス
2023/3/18(土)	和歌山県校友会 総会	ダイワロイネットホテル和歌山

※2022年11月～2023年3月に行われた各団体の行事の一部を紹介しています。2023年1月末時点で事務局に寄せられた情報となります。
※各団体において、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、開催されました。

校友会 TOPICS

立命館宇治高校2年生対象キャリア企画「授業＋R2022」を開催

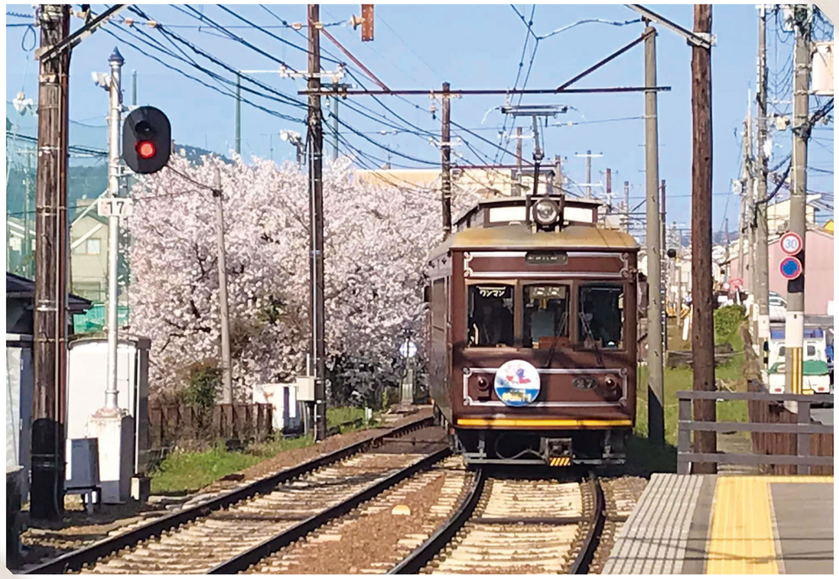
2022年12月14日と2023年1月21日、立命館宇治高校において高校2年生を対象としたキャリア企画「授業＋R2022」を開催しました。「授業＋R」は「何となく大学に進学する」生徒を一人でも減らそうと、同校キャリア教育部の教員、有志の若手校友、校友会事務局が協力し、2009年度にスタートした取り組みです。

「授業＋R」は「大学生授業」と「社会人授業」の2回で構成され、「大学生授業」では、立命館宇治高校出身の現役大学生を中心に、「部活動」「課外活動」「留学」「学業」などのテーマで10名の学生が授業を行いました。また、「社会人授業」は日本全国から集まった11名の講師と、海外からオンラインで出席した講師1名の計12名が授業を行いました。

思い出のあの場所 №.001

嵐電 等持院駅

（現 等持院・立命館大学衣笠キャンパス前駅）



2022年4月5日撮影

衣笠キャンパスの南門を出て、大きなオムライスと人情で有名な「喫茶ひとみ」の前を南下し、住宅街を抜けると「嵐電 等持院駅（現 等持院・立命館大学衣笠キャンパス前駅）」に行き着きます。

私は1989年の卒業ですが、当時も今も駅周辺には数多くの立命館の学生が下宿しています。朝夕学生が行き来する姿、踏切の閉まる音、そして嵐電の走る姿は何一つ変わっていません。

衣笠キャンパス地域連携課に勤務していた頃、同駅の踏切で交通安全の立ち当番をしていましたが、実は毎朝大好きな風景を楽しむために行っていたような気がします。「学生時代、授業の合間に、この駅から『嵐電桜のトンネル』を見に行ったっけ」と懐かしい思い出にふけりながら。

秋には、学生たちとキャンパスで育てたフジバカマが駅に設置されます。「渡り蝶アサギマダラが飛来する駅」という新たな伝統も根付き始めています。

野球小僧（'89法）

「思い出のあの場所」に投稿しませんか？

「思い出のあの場所」では、校友の皆さまからの投稿をお待ちしています。詳細については右のQRコードからご確認ください。

※事務局にて投稿内容を確認し、掲載する場合のみご連絡を差し上げます。掲載に関するお問い合わせにはお答えできません。
※原稿は掲載時に修正が加わる場合がございます。あらかじめご了承ください。

①思い出の場所の紹介文（350字程度）
立命館のキャンパス（広小路・衣笠・BKC・OIC・朱雀）、またはその周辺とします。

②執筆者の方のお名前、卒業年、学部（ペンネーム可）

③紹介文に関する画像1点
（印刷のため高解像度の画像をお願いいたします）
※人物が写っている場合には、必ず本人の承諾を得た上でご投稿ください。

投稿はこちらから！

https://alumni-ritsumei.smktg.jp/public/seminar/view/1243

ACR ACADEMIC CENTER OF RITSUMEIKAN

立命館オンラインセミナー

新型コロナウイルス感染症は、社会インフラ・経済システムに急激な変化をもたらしました。
また、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進、ジョブ型雇用など労働環境の変化は、われわれの生活様式や働き方、そしてコミュニケーションのあり方にも大きな見直しを迫っています。
「学び」も大きな影響を受ける中、立命館大学は、「学び」を求める全ての人に開かれた新たな拠点として「立命館オンラインセミナー」を展開しています。
どこからでもアカデミックな講義を受講できる、何度でも繰り返し視聴できる、素朴な疑問もネットであれば気軽に質問できる、そんな「学び」をあなたも体験してみませんか？

PC・スマホ・タブレットからカンタン受講！ ※1

自宅からでもどこからでも受講できる！

Q&Aで講師に質問ができる！ ※2

※1 ライブ配信の場合、受講にはあらかじめZoom（アプリケーション）のダウンロードが必要です。
※2 ライブ配信に限ります。

お申し込み方法

インターネットからお申し込みください

学びのプラットフォームMIRAI

※電話・FAX・郵送・メールでのお申し込みはお受けしておりません。
※お支払いはクレジットカード払いのみです（JCB・VISA・Mastercard・American Expressがご利用いただけます）。

募集予定の講義（2023年3月現在）

リスキリング＆ナレッジ講座

2022年度開講実績（一部）

SDGsを考える

詳しくは「学びのプラットフォームMIRAI」をご覧ください。

主催／立命館大学 社会連携課　住所：京都市中京区西ノ京朱雀町1　お問い合わせ／立命館アカデミックセンター事務局　E-Mail：acr02@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学 SPORTS & CULTURE

学生の活躍

[2022 NOVEMBER~2023 JANUARY]

最新情報は
こちらを
チェック！

SPORTS

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

馬術部 ❶

11月2～6日に三木ホースランドパーク（兵庫県）で開催された「全日本学生馬術大会2022」において、11月4日に行われた「第65回全日本学生賞典馬場馬術競技大会 大学別団体戦」で馬術部が初優勝の快挙を成し遂げました。

男子バスケットボール部 ❷

満尾竜次選手（経済4）が、ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ「Bリーグ」のB1リーグに所属するファイティングイーグルス名古屋に、2022-23シーズン特別指定選手として加入することが決定しました。B1リーグ選手の誕生は、男子バスケットボール部創部初の快挙となります。

パラ・パワーリフティング ❸

12月15～18日、ドバイ首長国で行われた「Fazza 12th Dubai 2022 Para Powerlifting World Cup」女子73kg級の部で、森崎可林選手（法2）が70kgを挙げて第3位入賞を果たしました。ネクストジェネレーション部門（18～20歳の年齢カテゴリー）では、見事1位を獲得しました。

オートバイレース ❹

2022年3月に開幕した「2022 FIM Asia Road Racing Championship（アジア・ロードレース選手権）」ASB1000クラスにて、埜口遥希選手（産社3）が年間ランキングで2位となりました。埜口選手は、2023年度も同選手権に参加することが決定しています。

CULTURE

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

バトントワリング部 ❺

12月10・11日、幕張メッセ（千葉県）で行われた「第50回バトントワーリング全国大会」の学校部門・大学バトン編成にて、バトントワリング部が最優秀賞を獲得し、大会連覇を成し遂げました。

ぎゅっと滋賀 ❻

学生団体「ぎゅっと滋賀」は、株式会社平和堂、伊藤忠食品株式会社などの企業の協力のもと、滋賀県高島市産のアドベリーを使用したブーケ形お菓子「アドベリーヌ」を開発しました。

立命館大学学友会 ❼

12月25日、衣笠キャンパスにて、株式会社ネイキッドと立命館大学学友会のコラボレーション企画「りつくり2022 ～光のサンタと氷の時計台～」を初開催しました。

Song-genics ❽

アカペラサークルSong-genicsに所属する「バリバリ（bally-valley）」が、『青春アカペラ甲子園　全国ハモネプリーグ2022冬』で優勝する快挙を達成しました。

最新情報はこちらをチェック！

2023年1月、仲谷善雄総長 2期目のスタート

2022年12月末日をもって仲谷善雄総長の任期が満了になることに伴い、2022年11月6日に総長選挙が行われました。その結果、次期総長に仲谷善雄・立命館大学情報理工学部教授（学校法人立命館総長・立命館大学学長）が再選。11月25日に開催した理事会において、2期目の就任を正式に決定しました。

任期は2023年1月1日から2026年12月31日までの4年間で、2期まで再任が可能です。また、総長は立命館大学の学長を兼任します。

仲谷善雄 Yoshio Nakatani

Profile

現職
学校法人立命館総長、立命館大学学長、情報理工学部教授

生年月日
1958年7月24日（64歳）

専門分野
防災情報システム、人工知能、ヒューマンインタフェース、認知工学、思い出工学、感性工学

最終学歴
大阪大学人間科学部人間科学科（社会心理学）卒業

取得学位
学術博士（神戸大学）

所属学会
ヒューマンインタフェース学会、情報処理学会、人工知能学会、計測自動制御学会、日本心理学会、日本認知科学会、日本災害情報学会、日本グループ・ダイナミックス学会、プロジェクト・マネジメント学会、システム制御情報学会、交通科学研究会

本学園の役職歴

2004年4月	立命館大学理工学研究所主事（2005年8月まで）
2006年4月	立命館大学情報理工学部副学部長（企画・研究・国際）（2008年3月まで）
2008年4月	立命館大学情報理工学部副学部長（企画・国際）（2010年3月まで）
2009年7月	立命館大学文部科学省国際化拠点整備事業推進本部副事務局長（2011年3月まで）
2010年4月	立命館大学情報理工学部副学部長（国際プロジェクト）（2011年3月まで）
2010年4月	立命館大学「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業専門プログラム 開発マネージャー（2011年3月まで）
2012年4月	立命館大学総合科学技術研究機構長（2014年3月まで）
2012年4月	立命館大学理工学研究所長（2014年3月まで）
2014年4月	立命館大学情報理工学部長、情報理工学研究科長（2018年3月まで）
2014年4月	学校法人立命館理事・評議員（現在に至る）
2018年4月	学校法人立命館副総長（研究・学術情報・国際連携・男女共同参画担当）、立命館大学副学長、学校法人立命館最高情報責任者（2018年12月まで）
2019年1月	学校法人立命館総長、立命館大学学長（現在に至る）

11月29日記者発表会の様子

立命館大学と企業の連携事業がスタート「Ritsumeikan-Global Athlete Program」 ❶

立命館大学は、アシックスジャパン株式会社・株式会社プログリットと連携し、学生アスリートに英語教育と世界最高峰のスポーツ教育を提供する「Ritsumeikan-Global Athlete Program」をスタートしました。世界で活躍を目指す学生アスリートを選抜し、株式会社プログリットが提供する英語コーチング「プログリット」を用いて集中的な英語教育を実施。今年度については、アメリカ合衆国フロリダ州にある国際的なスポーツアカデミー「IMGアカデミー」への短期留学を行い、分野毎の専門的なトレーニングを体験します。

大阪いばらきキャンパス（OIC）で「IMPACT MAKERS DAY」を開催 ❷

12月17日、OICで「IMPACT MAKERS DAY」を開催しました。本イベントは、事業化を通じてイノベーションや社会共生価値の創出を目指す人（IMPACT MAKER）が集い、新たな価値創造を促す試みです。2022年7月に始めた、世界6カ国で活動するVenture Caféと連携し、関西地域のイノベーション・コミュニティー創出を目指す事業「OIC CONNÉCT」の特別版として実施しました。立命館にゆかりのある起業家やIMPACT MAKERとして活躍する立命館の学生・生徒らが参加し、世代や立場を超えて交流しました。

image: Freepik.com

経済産業省「地域オープンイノベーション拠点選抜制度」に選抜される ❸

10月3日、立命館大学産学官連携戦略本部は、経済産業省「第4回地域オープンイノベーション拠点選抜制度」の「地域貢献型」に選抜されました。本拠点では、約30年にわたって大学の研究シーズを育て、地場産業や地域経済に貢献してきました。今後、産学官地との交流・連携を可能にする草の根型の実証実験・人材育成機能を整備し、グラスルーツ・イノベーションに特化した「URA（University Research Administrator）」を配置。研究成果を社会実装につなげる基盤を構築していく予定です。

マイクロフィンガーを用いダンゴムシの力計測に世界で初めて成功 ❹

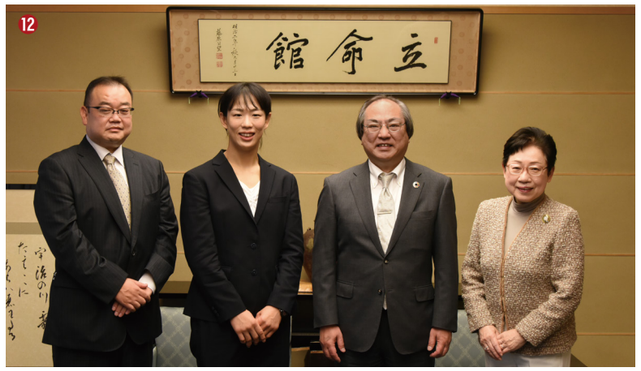
理工学部の小西聡教授の研究チームは、独自の触覚センサを有したマイクロフィンガーを開発。これを用いてダンゴムシに触れ、脚力、胴体力を計測することに成功しました。マイクロフィンガーは長さ12mm、幅3mm、厚さ490μmで、液体金属を使った柔軟な歪センサを内蔵。シリコンラバー製の柔らかい人工筋肉の圧力駆動によって動きます。本研究成果は、2022年10月10日（現地時間）、「Scientific Reports」のオンライン版に掲載されました。ミクロ世界とのインタラクションを可能にするインターフェースとして今後の活用が期待されます。

アジアとつながる国際交流フェスタ「Asia Week 2022」を開催 ❺

10月23日、OICにて、地域交流イベント「Asia Week 2022」を開催しました。OICでは、「アジアのゲートウェイ」を目指す教学展開とキャンパス創造を広く発信していくことを目的に、国際交流や異文化理解といった趣旨を踏まえ、地域・社会と大学がつながる交流イベントを実施しています。2022年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、対面形式で開催しました。当日は、キャンパスの屋内外で60を超える出展・出演団体の企画が実施され、約2,000名の市民の方々が訪れました。

CAMPUS TOPICS キャンパストピックス [2022 OCTOBER~2023 JANUARY]

最新情報はこちらをチェック！



4キャンパスから学生・教職員が参加 2022年度「第1回全学協議会」を開催 ❻

10月28日、朱雀キャンパスをメイン会場として2022年度「第1回全学協議会」を開催しました。当日は、メイン会場の映像と音声を衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス(BKC)、大阪いばらきキャンパス(OIC)にも配信し、それぞれのキャンパスで学部生・大学院生、教職員が出席しました。立命館大学の未来に係る議題について積極的に意見が交わされました。協議で確認されたことは、1月27日より全学協議会特設サイトにおいて公開されています。

地域住民・企業・行政・学生・教職員が集い「BKCウェルカムデー」を初開催 ❼

11月5日、BKCにて「BKCウェルカムデー～びわこ・くさつ健幸フェスタ2022～」を開催しました。教職員の自発的な取り組みを励ます「R2030推進のためのグラスルーツ実践支援制度」に採択され、BKCで初開催となりました。当日は、学内外の80を超える団体が企画を持ち寄り、スポーツ・食・SDGs・パフォーマンス・地域・マインドフルネスのカテゴリーで約90もの企画が実施されました。草津市の住民を中心に5,000名を超える地域の方々がキャンパスを訪れ、さまざまな体験を楽しみました。

ウクライナからの留学生が甲子園球場で始球式 ❽

11月13日、「全日本大学準硬式野球東西対抗日本一決定戦甲子園大会」(主催:全日本大学準硬式野球連盟)が阪神甲子園球場にて開催され、ウクライナからの非正規留学生で、立命館大学で学ぶヴァレリア・キンさんが始球式を行いました。立命館大学は、ロシアの軍事侵攻の影響で教育や研究を続けられなくなったウクライナの学生を、分林保弘氏(株式会社日本M&Aセンター取締役会長・創業者)のご厚志をもとに一時的に受け入れています。本学のウクライナ支援に共感された同連盟のお声掛けにより、今回の始球式が実現しました。

2022年度学園祭を3キャンパスで開催 ❾

2022年度学園祭を、11月13日に衣笠、12月4日にOIC、12月11日にBKCの3キャンパスにて対面開催しました。学園祭テーマは、「Next Step」。「昨年度以前よりも盛り上げる」という思いが込められました。学園祭当日は、新型コロナウイルス感染症対策として、キャンパス入構人数を制限しながらも、学生・保護者や地域の方々など、3キャンパス合わせて約24,000名が来場。さまざまなクラブ・サークルなどによる屋内イベント・展示や模擬店などが開かれ、大いに盛り上がりました。

理工学部の長谷川知子准教授が世界最高峰の研究者「高被引用論文著者」に選出 ❿

11月15日、理工学部の長谷川准教授は、クラリベイト・アナリティクス社が発表した2022年度「高被引用論文著者(Highly Cited Researchers 2022)」に4年連続で選出されました。高被引用論文著者には、特定出版年・特定分野における世界の全論文のうち引用された回数が上位1%に入る論文を発表し、後続の研究に大きな影響を与えた研究者が選ばれます。長谷川准教授は、1人の研究者が複数分野で論文を発表している場合の合計被引用件数で評価する「クロスフィールドカテゴリー」で選出されました。

脱炭素社会を目指す社会実装拠点を開設「立命館大学日本バイオ炭研究センター」 ⓫

11月17日、立命館大学は、脱炭素社会の実現に向け、「バイオ炭」を活用して地球温暖化防止を目指す社会実装拠点「立命館大学日本バイオ炭研究センター」を開設しました。日本のバイオ炭研究をリードする拠点を目指し、バイオ炭に関する研究成果を活用した温暖化防止の取り組みや、産学官連携によるバイオ炭の社会実装を推進。人材育成やバイオ炭の環境保全機能に関する研究、ライフサイクルアセスメント(LCA)手法の開発などにも取り組んでいきます。

※バイオ炭:バイオマスを加熱して作られる土壌改良資材

柔道女子(70kg級)大野陽子さんが立命館大学に来訪 ⓬

11月21日、大野陽子さん('12産社)が来学され、仲谷善雄学長・平林幸子立命館大学校友会副会長と懇談しました。大野さんは「第26回全日本学生柔道体重別選手権大会(女子70kg級)」優勝、「2021世界柔道選手権ブダペスト大会(女子70kg級)」2位など数々の成績を残されました。懇談で、大学での指導者や校友の支えに感謝を述べるとともに「オリンピックで活躍する選手の育成に携われたら」と今後の抱負を語りました。

第69回「不戦のつどい」わだつみ像前集会を開催 ⓭

12月8日、第69回「不戦のつどい」わだつみ像前集会を、3年ぶりに一般参列者も招いて開催しました。国際平和ミュージアムはリニューアル工事中のため、今年度の集会は、わだつみ像が置かれている平井嘉一郎記念図書館にて執り行いました。「不戦の誓い」が朗読された後、黙とう・わだつみ像への献花が行われ、参加者は不戦と平和への誓いを新たにしました。不戦のつどい実行委員会の委員長として石川寛太さん(映像4)が挨拶し、平和の重要性を語りました。

大阪いばらきキャンパス(OIC)で初開催「2025年大阪・関西万博 クラゲ館全体ミーティング」 ⓮

12月21日、OICにて「2025年大阪・関西万博 クラゲ館全体ミーティング」が開催されました。本学は2022年に、パビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」(通称:クラゲ館)への協賛契約を公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と締結。月2回の「クラゲ館全体ミーティング」に参加しています。OICで初開催となった2022年最後のミーティングには、過去最多の60名近い参加者が集結。本学からも多数の教職員が参加しただけでなく、学生団体が活動をプレゼンする機会も与えられました。

3.11 復興への願い

復興のその先へ
東日本大震災 被災地はいま。

～復興リレーメッセージ 第9回 福島県～

2011年3月11日の東日本大震災から12年がたちました。立命館大学校友会の東日本大震災被災地復興支援の活動は2020年3月をもって一つの区切りを迎えましたが、震災の記憶を風化させないために、“被災地のいま”を各校友会からお届けします。

夏休み「子ども教室」

震災からはや12年。この間、母校立命館大学および校友会から寄せられた切れ目のないご支援に、心から感謝申しあげます。

福島県の震災はまだ継続中です。特に最近、沿岸部浜通り北部の相馬地区は、令和3、4年と連続して起こった大きな地震で再び被災し、復興もままならない状況です。

一方で、最近話題の新海誠監督作のアニメ映画「すずめの戸締まり」、今回の芥川賞を受賞した佐藤厚志さんの小説「荒地の家族」、そして南相馬市に移住して執筆活動中の柳美里さんなど、震災を未来に伝えようという意欲が感じられる動きも数多くあります。

私は元小学校教師として、地域を支える人材育成そして子どもたちの夢実現のために、故郷の良さや文化と伝統を次世代に伝えていきたいと考え、令和4年度から始まった地域学校共同事業の一環として、夏休みや冬休みに学習支援を行う「子ども教室」を開催し、講師として活動しています。

校友の皆さまにも、全国旅行支援などを活用してぜひこの福島県浜通りを訪問し、震災・原発被災の実態を見て感じていただき、末永く復興を支援していただければ幸いです。

立命館大学福島県校友会
副会長 村田恭一（'81法）

会報と大学・校友会の最新ニュースをメールでお届けします！

年3回 校友会報「りつめい」

＼ 会報メール配信サービス登録受付中！ ／

校友会報「りつめい」最新号をメールでの受け取りに変更しませんか？

ご登録いただくと、PDFまたはデジタルブックでご覧いただけます。

本サービスに登録されますと、現在会報をお届けしているご住所への郵送はされません。ご了承ください。

- お申し込みのタイミングによっては、次々号の会報からの配信となる可能性があります。
- 会報のお届け（郵送や本サービスによるメール配信）は、立命館大学校友会の終身会費30,000円をお納めいただいている方に限ります。

＋

月1回※ 立命館Beyond Borders NEWS

＼ メールアドレスをご登録ください ／

立命館Beyond Borders NEWSとは？

※月1回程度（年12回程度）配信

- 立命館大学の教育・研究や学生に関わる最新ニュース、イベントやセミナーのご案内、校友会のイベント情報などをお届けします。
- 校友会にメールアドレスをご登録いただいている皆さまに、月1回程度メールで配信します。
（既に立命館Beyond Borders NEWSが届いている方は、新たな手続きは不要です。）

各種お手続きは、右記のご連絡先変更フォームから　● メールアドレスの登録・変更　● 会報受け取り方法の変更　など

お手続き方法

ご連絡先変更フォームにて、必要事項をご入力の上、「■立命館からのご案内について」の欄でご希望の内容を選択してください。

▶校友会報「りつめい」をメールで受け取るなら……
【会報のお届けについて】→「メールでの送付を希望する（現住所メールアドレス宛）」を選択してください。

▶立命館Beyond Borders NEWSを受け取るなら……
【メールニュース・各種ご案内について】→「案内を希望する」を選択してください。

https://alumni.ritsumei.jp/procedure/entry/

＼ 校友も利用できるサービスがあります ／

卒業後も大学を利用しよう！

校友サロンのご利用

立命館大学では各キャンパスに「校友サロン」を設けています。校友のお仲間同士やご家族で、母校へお越しの際の待ち合わせや、くつろぎの場としてぜひご利用ください。

※時間外の対応はいたしかねますのでご了承ください。
詳細は校友会ホームページ「活用する」の「『校友サロン』のご利用」をご覧ください。

▶ https://alumni.ritsumei.jp/use/use/

校友サロン

- **びわこ・くさつキャンパス（BKC）** コアステーション3階ラウンジ
- **大阪いばらきキャンパス（OIC）** B棟1階ラウンジ
- **朱雀キャンパス** 中川会館6階校友ロビー

※**衣笠キャンパス** 国際平和ミュージアムロビー（1階・2階）
2021年4月より約2年半はリニューアルのため休館しています。その期間は校友サロンを利用できません。あらかじめご了承ください。再開についての情報は校友会ホームページにてご確認ください。

図書館のご利用

衣笠キャンパスの平井嘉一郎記念図書館、BKCのメディアセンターとメディアライブラリー、OICライブラリー、朱雀リサーチライブラリーをご利用いただけます。

※ご利用には申請が必要です。

窓口

▶ https://www.ritsumei.ac.jp/lib/a07/010/

- **平井嘉一郎記念図書館（衣笠）** TEL.075 - 465 - 8217
- **メディアセンター（BKC）** TEL.077 - 561 - 2634
- **メディアライブラリー（BKC）** TEL.077 - 561 - 3943
- **OICライブラリー** TEL.072 - 665 - 2520
- **朱雀リサーチライブラリー** TEL.075 - 813 - 8257

各種証明書のお申し込み

申し込み方法

校友会ホームページ「各種手続き」の「証明書申込案内」をご覧ください。

▶ https://alumni.ritsumei.jp/procedure/info/

コンビニでの証明書発行サービスについてはP.31をご覧ください。

ご不明な点がございましたら、下記窓口までお問い合わせください。

窓口

- **衣笠キャンパス**
〒603 - 8577 京都府京都市北区等持院北町56 - 1
衣笠学びステーション 証明書発行係
TEL.075-465-7877
法務、公務、教職研究科は朱雀キャンパス（朱雀独立研究科事務室）でも窓口での受付・発行を行います。
- **びわこ・くさつキャンパス**
〒525 - 8577 滋賀県草津市野路東1 - 1 - 1
BKC学びステーション 証明書発行係
TEL.077-561-4972
- **大阪いばらきキャンパス**
〒567 - 8570 大阪府茨木市岩倉町2-150
OIC学びステーション 証明書発行係
TEL.072-665-2050

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、キャンパス入構および図書館の利用が通常とは異なる場合がございます。下記のURLより最新の情報をご確認ください。

▶ https://www.ritsumei.ac.jp/news/covid19/

ご連絡先の更新をお願いします

いつも、校友会報「りつめい」をご愛読いただきましてありがとうございます。ご登録いただいている情報に基づき、校友会報とともに各地の校友会の情報、イベント等のご案内を同封してお届けしています。お住まいやお勤め先などの連絡先に変更が生じましたら、下記から更新をお願いいたします。

ご連絡先変更フォームURL ▶ https://alumni.ritsumei.jp/procedure/entry/

R Alumni

INFORMATION

校友消息（2023年1月31日判明分）

叙勲

■瑞宝中綬章

吉田彰氏（'64理工）
岡山大学名誉教授

■瑞宝小綬章

井手之上優氏（'75法）
元大阪府福祉部長

岩佐卓實氏（'75法）
元滋賀県湖南広域行政組合消防正監

北村庄太郎氏（'75法）
元京都地方法務局長

■旭日双光章

川端良一氏（'63法）
公益社団法人京都保健衛生協会理事長

平林幸子氏（'71法）
元京都府公安委員会委員長

呉松正一郎氏（'98経営）
堺商工会議所常議員
元大阪学校給食パン・米飯
協同組合理事長

■瑞宝双光章

宇野武男氏（'63法）
元京都大学化学研究所事務部長

岡野茂昭氏（'75経済）
元近畿地方整備局総務部契約管理官

■旭日単光章

辻雅光氏（'74経営）
辻不動産株式会社社長

■瑞宝単光章

松崎英之氏（'79経済）
元法務教官

褒章

■黄綬褒章

中川馨氏（'75法）
司法書士

堀口君子氏（'03経済）
開業助産師

■藍綬褒章

岸田邦弘氏（'69法）
保護司

就任

柳孝氏（'87法）
文部科学事務次官

山根令氏（'09理工）
株式会社サンポール代表取締役社長

BOOKS（ご著書のご寄贈）

校友会へご寄贈いただきましたご著書の中から
一部をご紹介します。

◆吉原康和氏（'81文）著
『歴史を拓（ひら）いた明治のドレス』
株式会社G.B.　1,980円（税込）

◆鈴木文彦氏（'93産社）著
『スキーム図解 公民連携パークマネジメント
人を集め都市の価値を高める仕組み』
株式会社学芸出版社　2,970円（税込）

◆大澤真美氏（'00国関）共著
『ことばの焚き火
ダイアローグ・イン・デイリーライフ』
サンクチュアリ出版　2,200円（税込）

◆作野善教氏（'01経営）著
『クロスカルチャー・マーケティング
日本から世界中の顧客をつかむ方法』
株式会社宣伝会議　2,200円（税込）

◆杉本明美氏（'03院文）著
『歌集 向こう岸に』
青磁社　2,750円（税込）

◆北村周平氏（'06国関）著
『民主主義の経済学 社会変革のための思考法』
株式会社日経BP　2,640円（税込）

編集室から

3年ぶりにパスポートの出番、2023年の年越しを海外で過ごした。スマホによる煩雑な事前申請や帰国時のコロナ水際対策の強化も体感した。海外に出ると円の弱さを実感、買い物欲も半減した。観光スポットではフリー Wi-fi が増え、日本への通話やラインが可能でますます連絡に不自由を感じなかった。旅の取材もコロナ前ほどは復調しないが、戻りつつある。取材現場では、メディア記者に加えて、YouTuberや100万人のフォロワーを持つインフルエンサーたちも同行するようになった。彼らの影響力を情報発信者側も見過ごせなくなってきている。大阪万博までは、現役旅記者続行、SNS社会で変貌をとげる取材現場を見続けたい。

（髙橋英子）

ついに年明けにコロナに罹患してしまいました。過去にインフルエンザのA型とB型を両方経験していますが、コロナの方が療養が大変だった気がします。周りの人たちに聞いても、コロナに罹患したことがない人を探す方が難しいくらい、感染経験者が増えています。政府は今後、季節性インフルエンザなどと同等の5類に分類するとのこと。専門家の方々がメリット・デメリットをしっかり議論されているだろうとは思いつつ、経験した身からすると、「正直5類で大丈夫なのかな」と少し心配になります……副反応が辛くて、次のワクチン接種を迷っていましたが、感染による抗体の効果が切れる前に受けておこうと決意しました。

（榎本暁子）

立命館大学は、脱炭素社会の実現に向けたバイオ炭（生物資源から作られる土壌改良材）を活用した地球温暖化防止を目指す社会実装拠点「立命館大学日本バイオ炭研究センター」を2022年11月17日に開設しました。先立って、2019年には「立命館大学カーボンマイナスプロジェクト」を立ち上げ、バイオ炭に関わる研究活動が本格的に始動しました。日本のバイオ炭研究をリードする研究拠点を目指し、これまでのバイオ炭に関する研究を活用した地球温暖化防止への貢献、産学官連携によるバイオ炭の社会実装を展開していきます。多様性とサステナブルな社会の実現に寄与する立命館大学ならではの取り組みで、わが国のSDGsやESGにも大いに貢献できるものと期待します。

（N）

ライフワーク。先日出張ついでに学生時代の友人らに声を掛け飲みました。卒業以来のメンバーもいたにもかかわらずつい先週まで一緒にいたかのような楽しい時間でした。社会に出てからの人脈は人生のステージを経るにつれて移り変わっていくのに、学生時代の友達は腐れ縁とは不思議です。当時それだけ刺激があり、がむしゃらに良いことも悪いこともひっくるめて濃い時間を過ごしたのでしょう。そんな素晴らしく濃い時間はもう体験できないのでしょうか。もしかするとライフワークで可能かもしれません。ビジネスでなくとも小さな活動や家族、校友会との関わりもそのポテンシャルを秘めていそうです。心通わせる誰かがいるという幸せは何物にも代え難いこと。成功や失敗を超えて何歳になってもそんな仲間と思い出を積み上げていきたいと思います。（五嶋）

＼古本を活用した新たな支援のかたちです／

BOOKS FOR BOOKS

～立命館の本活～

2013年4月から2023年1月末までに
7,424名の方々から**346,329冊**の
本をお送りいただきました。
誠にありがとうございます。
引き続き、校友の皆さまのご協力を
よろしくお願い申し上げます。

どのような仕組みですか？

以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。

●ISBNのない本　※バーコードの有無は関係ありません。

ISBN見本　ISBN978-4-1234-5678-9

●百科事典　●コンビニコミック　●個人出版の本　●マンガ雑誌　●一般雑誌
●同一タイトル11点以上　●シングルCD　●投票券等特典付きCD
●児童買春・児童ポルノ禁止法（関連法令含む）に抵触する恐れのある全ての商品

〈お申し込み方法〉

① 梱 包

書籍を段ボール箱に入れてください。

●恐れ入りますが、段ボール箱は各自でご用意ください。
●5点（5冊）以上から送料は無料となります。
●1回の申込箱数は3箱までとさせていただいています。
●2010年以前に出版された書籍はお値段がつかない場合が多いため、
お申し込み前に下記の申込ページをご確認の上、
お値段がつかない本をできるだけ除いていただきますようお願いいたします。

② 申 込・集 荷

**提携会社バリューブックスの
ホームページからお申し込みください。**

●お電話ではお申し込みいただけません。

https://www.charibon.jp/partner/ritsumei-u/

立命館の本活　検索

お問い合わせ先

学校法人立命館 総務部 寄付事務局　TEL：075-813-8110（平日9:30～17:00）
※取扱品などについての詳細は、上記のホームページの「ご利用ガイド」に掲載しています。

お申し込みに関してのお願い

買取額は市場価格等を考慮して（株）バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている書籍であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申し込みいただく際には、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

コンビニで証明書が発行可能です

**立命館大学では、1990年4月以降の卒業生を対象として、
一部証明書をコンビニエンスストアで発行・印刷できます。**

（日本国内のセブン-イレブン、ローソン、ファミリーマートが対象）

手 順

❶右記のWEBサイトから利用を申請（初回のみ）。
https://crt.ritsumei.ac.jp/Student/ja-JP/Account/Login?Graduated=True
本人確認書類の画像データが必要です。
2回目以降は、利用申請は不要です。

❷利用申請の承認後、通知メールが届いたら、
申請WEBサイトへログイン。

❸メニュー画面から、受取方法で「コンビニ発行」を選択。

❹必要な証明書の種類と支払い方法※を選択。
※コンビニ決済とクレジットカード決済が利用可能。

❺選択したコンビニのマルチコピー機で証明書を発行・印刷。

コンビニで発行できる証明書

- 卒業・修了証明書
- 退学証明書
- 成績証明書
- 非正規生証明書
- 在学期間証明書

料 金

- 証明書発行手数料300円／1通
- システム利用手数料250円／1回の申請
- マルチコピー機のプリント料金20円／1枚

手続きの詳細、また1990年3月以前に卒業された方の証明書申込については右記のWEBサイトをご覧ください。

https://alumni.ritsumei.jp/procedure/info/

利用申請に関するお問い合わせ先
立命館大学衣笠学びステーション　TEL：075-465-7877（平日 9:00～17:00）